

芦屋町学校サポーターになりませんか

学校サポーターとは、地域の皆さんが「できること」で学校を応援し、学校と家庭・地域が一体となって子どもを守り育てていくことを目的とした制度です。

在学生の保護者を除き、誰でも参加することができます。各校区の公民館に直接申し込んでください。

活動の様子

○学校行事・授業の支援（むかし遊び、小学校まつり）



○土曜学び合いルームの見守り



○校内の花植え・除草作業



▶問い合わせ 中央公民館（☎222-1681）、山鹿公民館（☎223-1892）、芦屋東公民館（☎222-1981）※月曜日は休館です。



こどもとインターネット 被害者にも加害者にもならない ために

現代の生活において、インターネットは切っても切れない存在となりました。現代のこどもたちは、生まれたときからインターネットやスマートフォンが身近にある「デジタルネイティブ世代」とも言われます。便利である一方、その仕組みや危険性を十分に理解しないまま利用していることも少なくありません。

① 犯罪被害者になる危険性

インターネット上では、思いがけず犯罪やトラブルに巻き込まれる場合があります。無料ゲームサイトで遊んでいる間に、アイテムが有料であることに気づかず購入してしまったケースや、SNSにのせた個人情報の流出など、さまざまなトラブルが発生しています。特にSNSでは、匿名で簡単に多くの人とつながることができるため、顔や名前を知

らない相手とも抵抗なくやりとりをするこどもたちもいます。このようなインターネットの特性が、こどもの犯罪被害につながる危険性があることを忘れてはいけません。

② 犯罪加害者になる危険性

一方で、こども自身が加害者になってしまう場合もあります。実際に、スーパーの商品にいたずらをする様子を撮影してインターネットに投稿し、注目を集めたという事例があります。軽い気持ちで行った行動が、社会的な責任を問われたりすることにつながる場合があります。注目されることがすべて良いことではないことを伝え、インターネットで一度発信したものは二度と消えることはなく、日本中、世界中で見られているという意識づけをしましょう。

◆ 被害者にも加害者にもならないために

こどもが安全にインターネットと向き合うためには、家庭でのルールづくりが大切です。利用時間や使用する場所、使ってよいアプリやサービスについて家族で話し合い、成長に応じて見直していきましょう。例えば、フィルタリング機能を活用して、有害な情報へのアクセスを制限するというような方法があります。一方的にルールを強制するのではなく、なぜルールが必要なのかを共有し、周囲の大人が見守りながら、こどもがインターネットと向き合える力を育てましょう。

りーど通信 No.60

世界にひとつの エコバッグ作りに挑戦！

りーどぼらんていあキッズは、第4回研修会で「マイクログラシック」をテーマに地球環境を守る大切さを学びました。その学びを行動につなげる取り組みとして、第5回研修会では、エコバッグ作りに挑戦しました。

製作する前に、世界共通の目標であるSDGsのことを学び、すべての命の「家」である地球を未来へつなぐために、自分たちに今できることは何かを考えました。

エコバッグ作りでは、A4サイズのエコバッグに布用クレヨンで絵を描きました。その絵はどれも力作で、楽しくその活動に取り組んでいました。色使いに悩むキッズもいましたが、友



だちの作品を参考にしたり、声を掛け合ったりしながら、自然と助け合う姿が見られました。布用クレヨンは熱を加えると色が落ちにくくなる性質があり、仕上げにアイロンがけをしました。自分の順番を待ちきれず、友だちの完成品をのぞきこむキッズもいて、出来上がっていく様子に期待とワクワク感で満ち溢れていました。

今後も、座学と体験を組み合わせた研修や、複数の研修をつなげて学びを深めるなど、キッズの興味や関心に寄り添ったボランティア活動を企画していきます。



▽問い合わせ ボランティア活動センター (☎221・1011)

